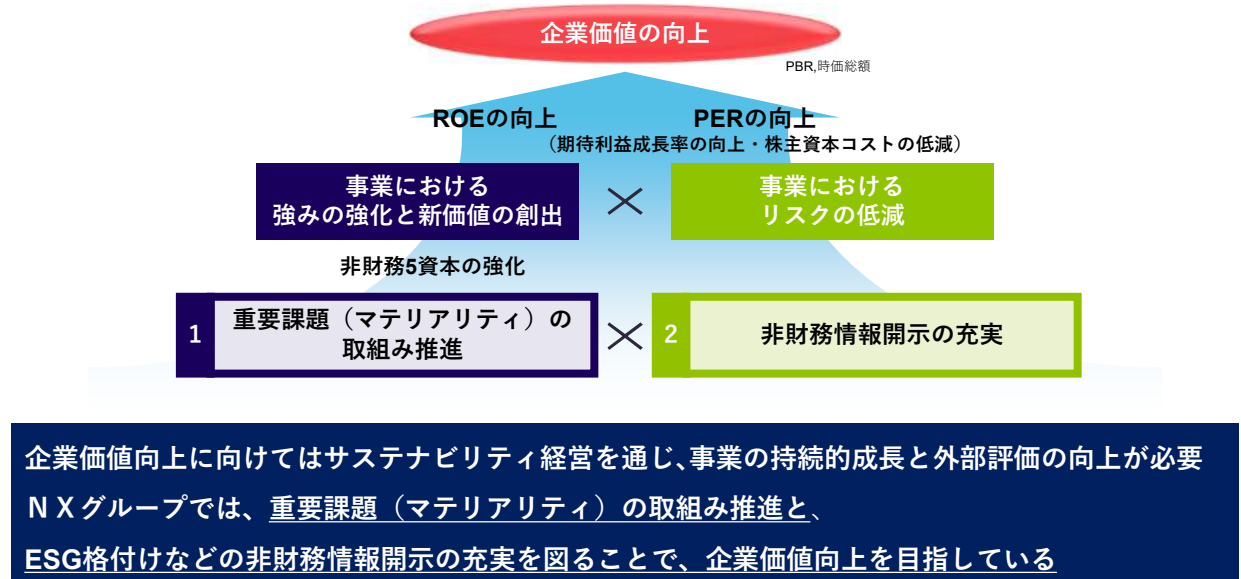


IR day2026 セッション3
「サステナビリティ経営戦略」

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
2026年9月18日

それでは、Session3「サステナビリティ経営戦略」について、岸田からご説明いたします。
本日は、サステナビリティ経営を通じて、NXグループがどのように非財務資本を強化し、それを稼ぐ力と企業価値の向上につなげていくのかをご説明します。

サステナビリティ経営における企業価値向上の取組みアプローチ



1 2026年9月18日開催 IR day

Copyright © 2026 NIPPON EXPRESS HOLDINGS, INC., All rights reserved.

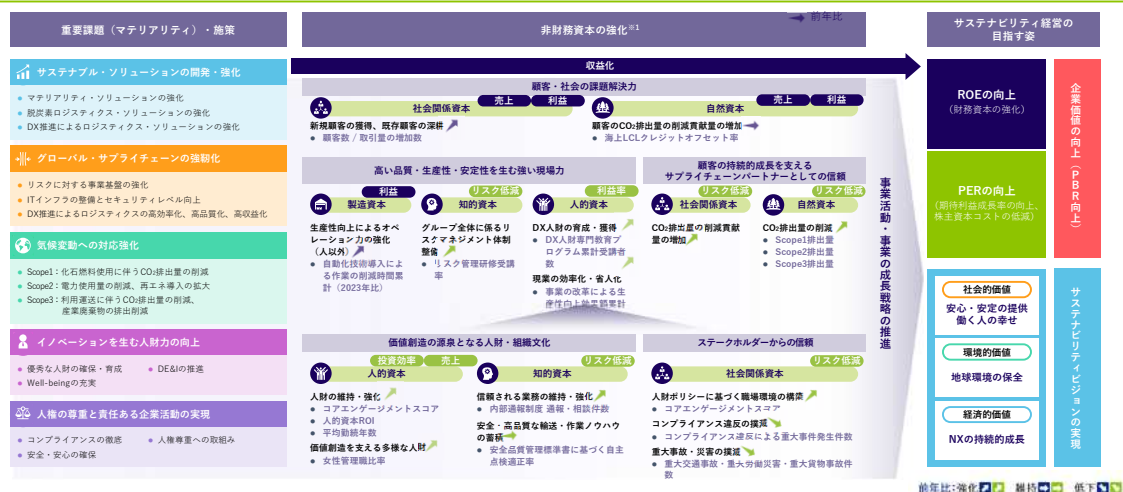
NEX NIPPON
EXPRESS
We Find the Way

NXグループでは、重要課題への取組みと、非財務情報開示の充実を両輪として推進しています。

重要課題への取組みを通じて非財務資本を強化し、お客様や社会への提供価値と事業収益の拡大につなげます。

同時に、その成果を適切に開示することで、当社への信頼と成長期待を高めます。これにより、ROEとPERの両面から企業価値の向上を目指します。

重要課題（マテリアリティ）への取組みによる価値創造の可視化・検証



各KPIがどの資本の強化を示すのか・各資本の強化がROE・PERにどのように影響するのか、を明らかにすることで、外部評価の向上を図るとともに、施策の実効性検証と見直しを図っていく

2 2026年9月18日開催 IR day

Copyright © 2026 NIPPON EXPRESS HOLDINGS, INC., All rights reserved.

NEX NIPPON EXPRESS
We Find the Way

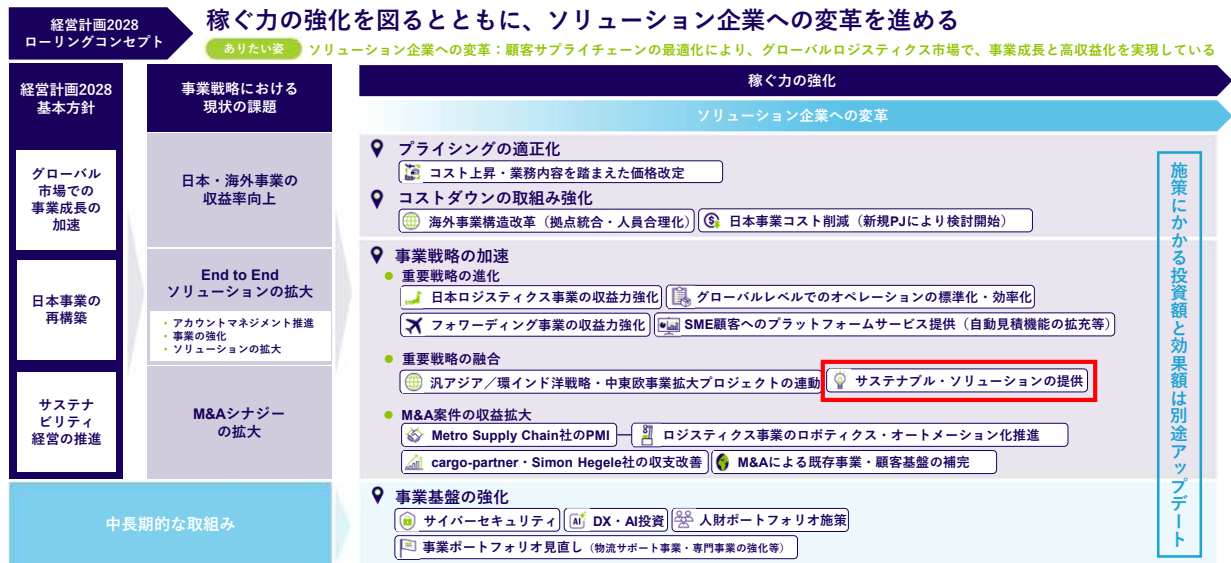
こちらは、重要課題への取組みが、どの非財務資本を強化し、どのように企業価値向上につながるのかを整理したものです。

昨年度からのアップデートは、取組みを実施するだけでなく、その効果をKPIで可視化し、継続的に検証する仕組みを整備した点です。

今後は各施策と非財務資本、そして企業価値とのつながりを検証しながら、施策やKPIの改善につなげていきます。

本日は、その具体例としてサステナブル・ソリューションの取組みをご紹介します。

経営計画ローリングの方向性



3

企業価値向上に向けた取組み Vol.2（マネジメントアロケーションの活用）

ここで、Session1とのつながりをご説明します。

先ほど社長の堀切から、経営計画ローリングにおいては、稼ぐ力の強化とソリューション企業への変革を進めるとの方向性をご説明しました。

その事業戦略の中核が、お客様のサプライチェーン全体に提供価値を拡大するEnd to End戦略です。

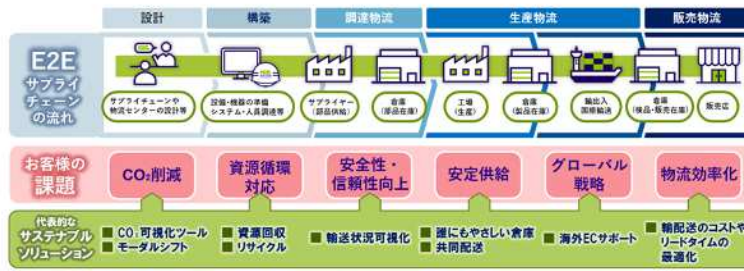
サステナブル・ソリューションは、そのEnd to End戦略を顧客課題起点で実現する取組みです。

お客様の経営課題を6つの領域で整理し、NXグループの多様なソリューションを組み合わせることで、顧客価値の創出とNXの事業成長の両立を目指しています。

それでは次のスライドから、サステナブル・ソリューションを成長戦略として事業実装していく取組みについて、ご説明いたします。

サステナブル・ソリューションによるお客様の課題解決・E2Eの推進

お客様のEnd to Endロジスティクスにおける様々なサステナビリティ課題を解決する
NXグループのサステナブル・ソリューション



お客様の課題に応じて既存プロダクト・サービスを組み合わせソリューションとして提供



XXXXXX株式会社 御中

〇〇〇〇ソリューション
ご提案書

NIPPON EXPRESS HOLDINGS, INC.
Sep. xx, 2025



こちらは、サステナブル・ソリューションの全体像です。

NXグループでは、お客様のサプライチェーンにおけるさまざまな経営課題を、CO₂削減、資源循環、安全性・信頼性向上、安定供給、グローバル戦略、物流効率化の6つの領域に整理しています。

これらの課題に対して、既存の物流サービスや商品を組み合わせ、End to Endで解決するソリューションとして提供しています。

単なる物流サービスの提供にとどまらず、お客様の経営課題の解決に貢献することが、サステナブル・ソリューションの特徴です。

サステナブル・ソリューションの事業実装を通じたNXの企業価値向上

2026年度統合報告書より抜粋



5 2026年9月18日開催 IR day

Copyright © 2026 NIPPON EXPRESS HOLDINGS, INC., All rights reserved.

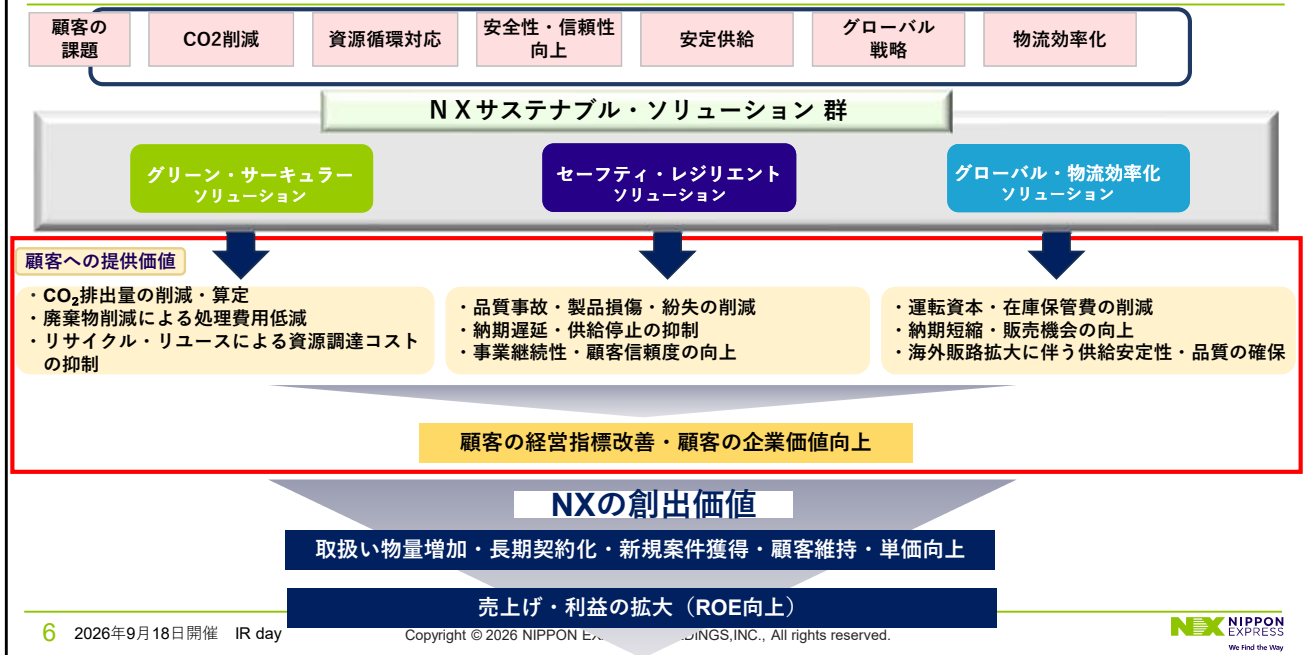
NEX NIPPON
EXPRESS
We Find the Way

サステナブル・ソリューションは、お客様への価値提供だけでなく、NXの成長戦略そのものでもあります。

アカウントマネジメントと連携しながらソリューション営業を強化することで、お客様との取引領域の拡大や契約の維持・拡大、新規案件の獲得につなげていきます。

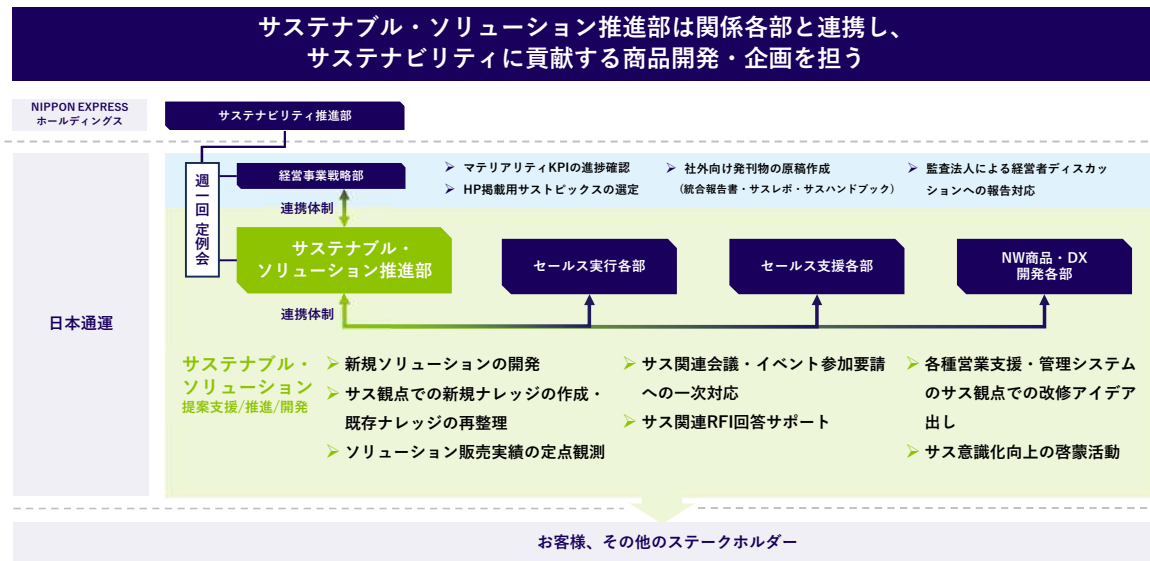
その成果を売上拡大、利益率や営業効率の向上に結び付け、ROE・PERの向上を目指します。

サステナブル・ソリューションによる価値創造ストーリー



こちらでは、サステナブル・ソリューションの価値創造の流れを示しています。
 お客様の経営課題を解決し、経営指標や企業価値の向上に貢献することで、NXが
 パートナーとして選ばれることを目指します。
 これにより、取扱物量の拡大や長期契約、新規案件の獲得を通じて、売上・利益の成
 長につなげていきます。
 お客様の企業価値向上とNXの事業成長を両立させる。これが、サステナブル・ソ
 リューションの価値創造モデルです。

(参考) サステナブル・ソリューションの推進体制



7 2026年9月18日開催 IR day

Copyright © 2026 NIPPON EXPRESS HOLDINGS, INC., All rights reserved.

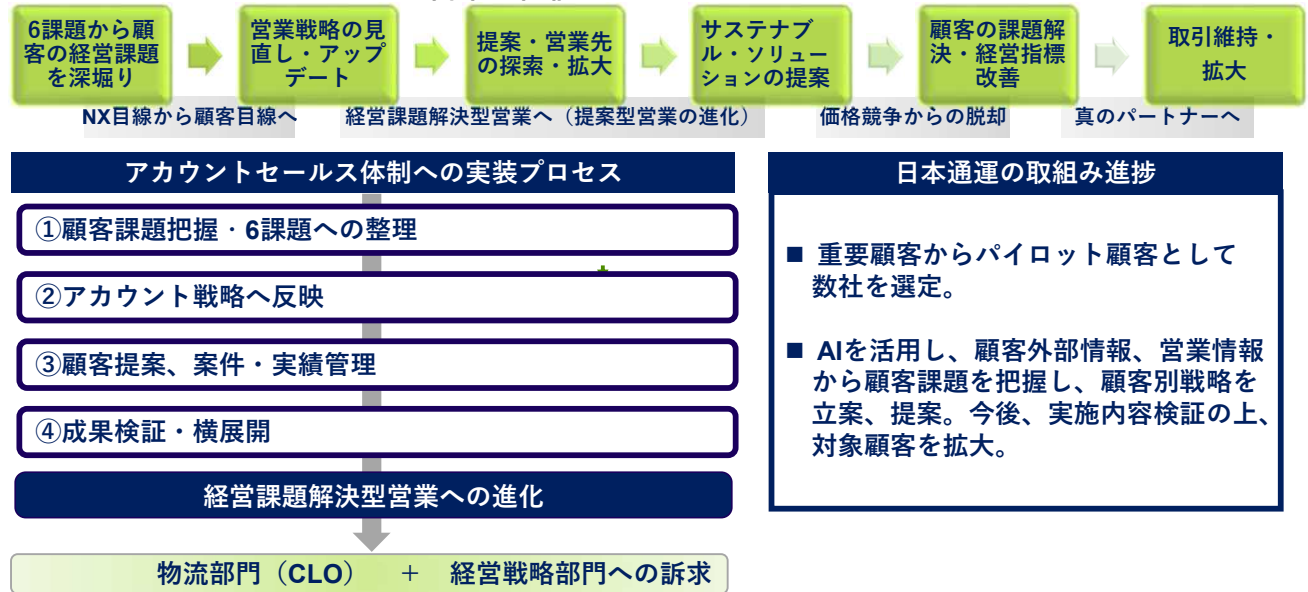
NEX NIPPON EXPRESS
We Find the Way

サステナブル・ソリューションの推進にあたっては、ホールディングスと日本通運の関係部門が連携する基本体制を整え、商品・サービスの開発、営業支援、実績把握、情報発信を一体で進めています。

まずは日本通運から取組みを先行させています。

サステナブル・ソリューションの実践（日本通運）

サステナブル・ソリューション営業の価値



8

2026年9月18日開催 IR day

Copyright © 2026 NIPPON EXPRESS HOLDINGS, INC., All rights reserved.

NEX NIPPON EXPRESS
We Find the Way

こちらは、日本通運におけるサステナブル・ソリューションの実装状況です。

アカウントセールスに組み込み、物流視点に加え、経営課題の起点とする提案モデルへの転換を進めています。

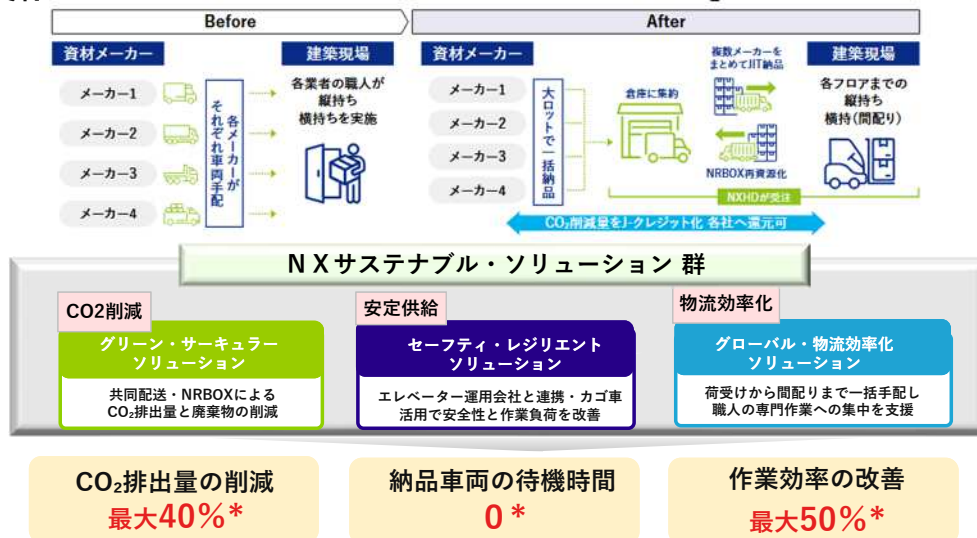
持続可能なサプライチェーンの実現には、中長期の視点でお客様の経営と現場を繋ぐことが重要です。

このため、物流部門と経営戦略部門との対話や合意形成も視野に入れています。

現在、重要顧客を対象にAIも活用したパイロット施策を進めており、成果と課題を検証した上で横展開し、ソリューション営業の定着と事業成長につなげてまいります。

サステナブル・ソリューションによる顧客の課題解決 具体的事例①

■ 建設資材の共同配送＋現場内搬入支援「建設ロジスティクス」



*期待される削減効果（ニュースリリース記載） *引用元：ニュースリリース

9

2026年9月18日開催 IR day

Copyright © 2026 NIPPON EXPRESS HOLDINGS, INC., All rights reserved.

NEX NIPPON EXPRESS
We Find the Way

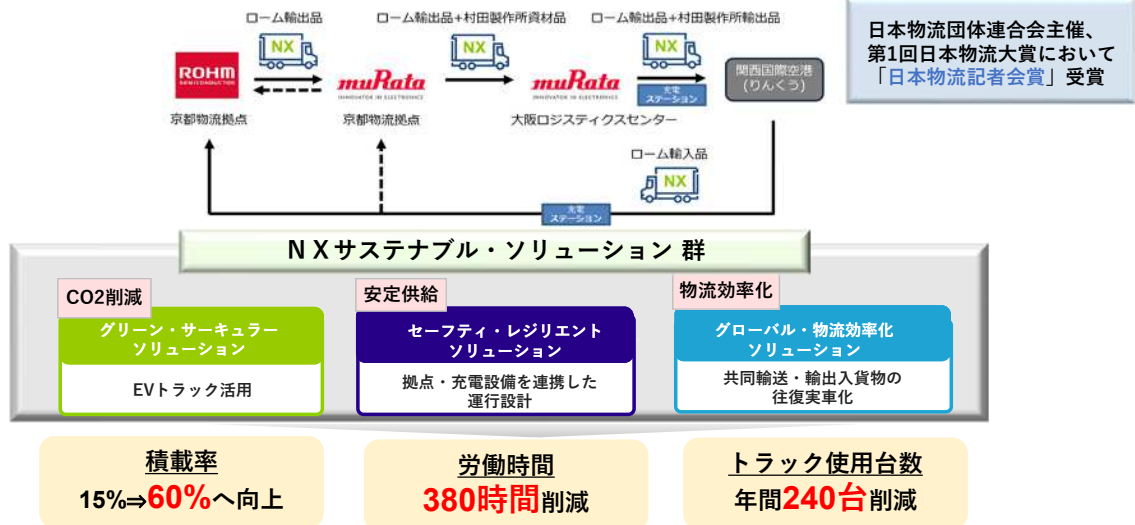
ここからは、サステナブル・ソリューションによる価値創出の具体例をご紹介します。
本事例では、建設資材の共同配送と現場内搬入支援を組み合わせることで、建設現場が抱える物流負荷の軽減に取り組みました。

NXが複数メーカーの輸送を集約し、現場内の搬入まで一貫して支援することで、CO₂排出量の削減と物流効率化の両立が期待されるスキームです。

お客様の生産性向上と環境負荷低減の両立を支援する事例です。

サステナブル・ソリューションによる顧客の課題解決 具体的事例②

■村田製作所様、ローム様 EVトラックを活用した共同輸送



*引用元：ニュースリリース

続いて、共同輸送による価値創出事例をご紹介します。

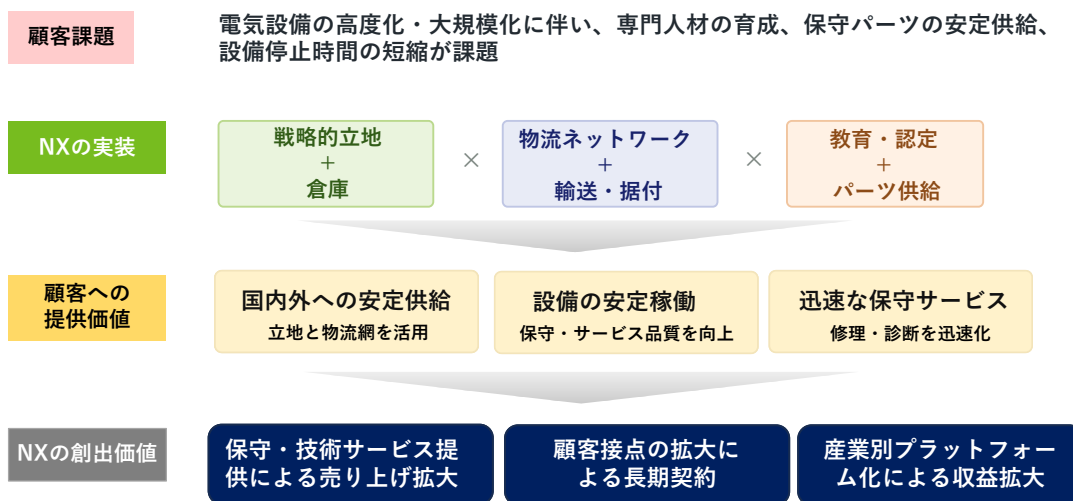
本事例では、村田製作所様とローム様の輸送を共同化し、EVトラックを活用することで、CO₂削減と物流効率化を同時に実現しました。

その結果、積載率向上、労働時間削減、トラック使用台数削減につながり、お客様の物流コストと環境負荷の双方の低減に貢献しています。

この事例は、NXが企業間をつなぎ、サプライチェーン全体の最適化を実現した代表的な事例です。

サステナブル・ソリューションによる顧客の課題解決 具体的事例③

■ABB様 × 日本通運 | 国内初のサービスワークショップを物流拠点内に開設



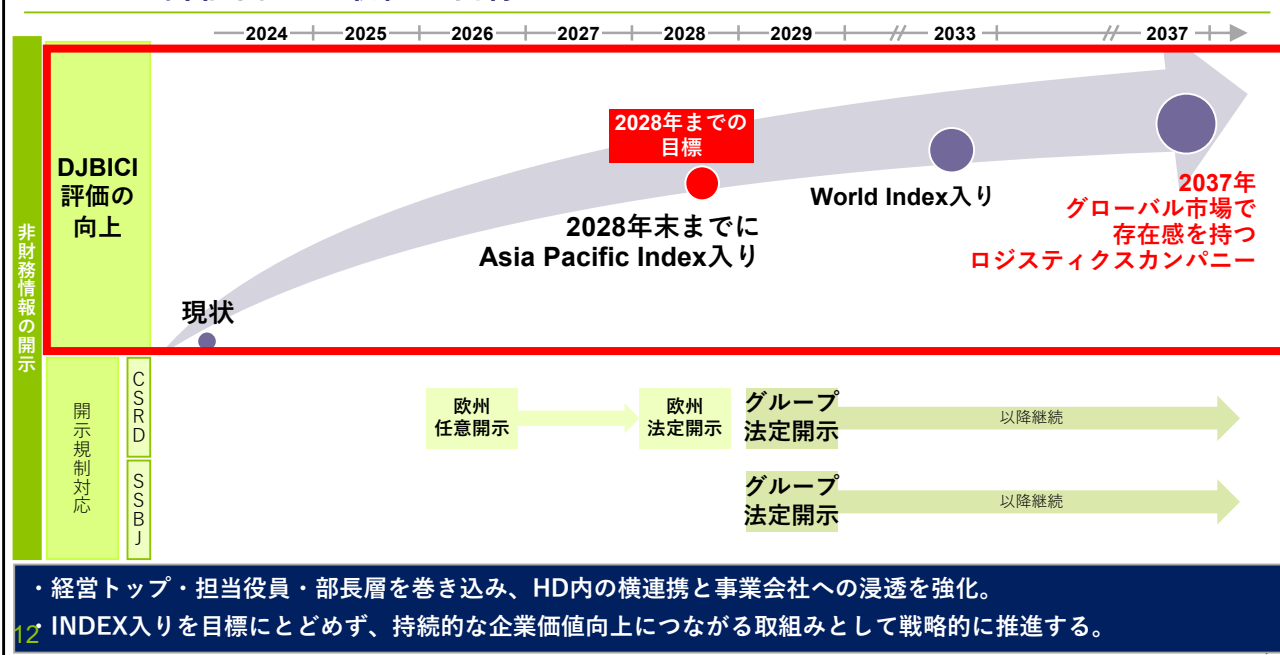
最後に、グローバルで産業オートメーション事業を展開されているABB社様との取り組みをご紹介します。

本事例は、物流を起点に、お客様の事業運営を支えるソリューションへ発展させた事例です。

NXは、物流ネットワーク、保守パーツ供給、輸送・据付、サービス拠点機能を組み合わせ、設備の安定稼働と迅速な保守対応を支援しています。

今後は、このような産業特有の課題解決モデルを横展開し、産業別プラットフォームの構築による顧客価値と収益機会の拡大につなげてまいります。

DJBICI 評価向上の取組み目標



続いて、非財務情報開示の充実にに向けた取組みについてご説明します。

これまでご紹介したサステナブル・ソリューションや人的資本経営などの取組みを企業価値向上につなげるためには、その成果や進捗を資本市場へ適切にお伝えしていくことが重要と考えます。

当社では、CSRDやSSBJなどの開示要請への対応を進めながら、DJBICIなどの外部評価も活用し、非財務情報の質と透明性の向上に取り組んでいます。

インデックス入りそのものを目的とするのではなく、市場との対話を深め、持続的な企業価値向上につなげることを目指しています。

今後の優先取組み項目

今後の優先取組み項目は、スコアへのインパクトが大きい領域への取組みを強化する

	配点	2025	Gap
Total			66.5
ガバナンスと経済的側面			20.2
透明性と報告			0.7
コーポレートガバナンス			4.9
マテリアリティ			1.0
リスクと危機管理			1.9
ビジネス倫理			4.7
方針への影響			2.0
サプライチェーンマネジメント			2.7
情報セキュリティ	グローバル・サプライチェーンの強靱化		2.3
環境的側面			16.3
環境方針と管理			2.2
エネルギー			0.4
廃棄物と汚染物質			0.3
水			0.3
気候戦略			3.7
製品管理			6.7
生物多様性	気候変動への対応強化		2.7
社会的側面			33.0
労働慣行			3.6
人権			3.3
人的資本管理	イノベーションを生む人財力の向上		9.0
労働安全衛生	人権の尊重と責任ある企業活動の実現		6.5
輸送の安全			3.7
顧客との関係			2.3
プライバシー保護			1.8
コミュニティとの関係			2.8
勝手評価によるDJBI補正			

責任あるAI：新規

✓ AIの方針・責任体制、教育・監査を整備し、統制と運用の開示

IT戦略

サプライチェーン管理：

✓ グループ全体でのサプライヤ・リスクのスクリーニング、重要サプライヤに対する、支援・評価・是正の実績の改善

サステナビリティ推進部・関係部

輸送製品管理：

✓ 輸送モード別排出量・削減目標・車両更新計画の整備含む、移行計画・資本配分

サステナビリティ推進部

生物多様性：

✓ 生物多様性のリスク評価・対応方針の開示

サステナビリティ推進部

人的資本管理：

✓ グループ全体での採用・育成・離職の実績（性別/年齢層/管理職レベル等）と成果（人的資本ROI）、改善状況の開示

人財戦略統括部

労働安全衛生：

✓ グループ全体での従業員・請負事業における労働損失傷害度率や労働関連死亡災害の実績と改善状況の開示

人財戦略統括部/コンプライアンス・リスク統括部
部門間連携要

輸送安全：

✓ 安全リスクに対する緩和措置（疲労リスク管理・アルコール検査等）・教育、事故実績と改善状況の開示

コンプライアンス・リスク統括部

13

2026年9月18日開催 IR day

Copyright © 2026 NIPPON EXPRESS HOLDINGS, INC., All rights reserved.

NEX NIPPON EXPRESS
We Find the Way

事業環境や外部評価の分析を踏まえ、当社が今後さらに強化すべき領域を整理しました。

現行の重要課題に限らず、AIガバナンス、サプライチェーン管理、人的資本、気候変動対応なども、単なる開示対応だけではなく、事業の成長と競争力を支える重要な課題と捉えています。

今後は関係部門と連携し、取組みと開示の双方を高めてまいります。

このうち人的資本については、引き続き「人的資本経営の推進」の中でご説明します。

私からの説明は以上です。ありがとうございました。



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。
万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、
弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

以上、ご説明しましたとおり、当社の人的資本経営は個の力と組織の力の
両方を高めながら経営戦略の実行力を高めていく取り組みです。
人財基盤の強化に加え、経営戦略に連動した人財ポートフォリオ施策とグ
ローバル人財戦略を着実に進めることで長期ビジョンの実現と企業価値向
上につなげてまいります。